

【令和7年度 会長挨拶】

設立当時の結成趣意書への思い

～創立60周年の節目に当たって～

福島県公立学校退職校長会

会長 福士 寛 樹



昭和100年、戦後80年、そんな節目の年令和7年を迎えました。先日、令和7年度の評議員会が福島市吾妻学習センターで開催し、本年度の事業計画と予算書等が満場一致で認めていただきました。また、役員改選により評議員の皆様から信任をいただき、会長職を承ることとなりました。これまでの成果と課題を整理し、引き続き、人生100年時代に相応しい本会運営に努めてまいりますので、引き続きご指導、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

本会は、昭和40年4月9日に会員386名で結成されてから令和7年4月9日で満60歳、無事還暦を迎えました。

本会の設立、全国連合退職校長会の一員になったのは、東京都退職校長会（千代田会）会員16名からなる結成準備委員会発出の「全国連合退職校長会結成趣意書」が送付されたのがきっかけでした。皆さんに紹介したいと思います。

（前略）

「戦後すでに20年、その間における我が国産業の発展、経済の成長は、実に世界各国の均しく驚異とするところである。然るにわが教育界は、今なお混迷を続け、憂慮すべき幾多の問題が山積している。

すなわち、真の日本人教育の確立、偏向教育の是正、道德教育の振興、非行青少年の対策、社会道義の高揚、家庭教育の改善、教員養成制度の改革等、いずれも速やかに解決を要する問題である。

生涯の大部分を教育に捧げた全国退職校長会の各位は、この世情に対し最も深き憂いを有するものであろう。しかしながら、全国各地に散在する退職校長の一人一人がいかに憂慮し、いかに努力しても個人の力によってこれらの問題を解決することはほとんど不可能であるといわねばならない。よってわれわれは、まず各都道府県においてその地域の小・中・高校の退職校長が、団結して都道府県の退職校長会を組織し、相互の親睦を図るとともに、現職校長と提携して教育振興に努力し、さらに大同団結して全国退職校長会を結成し、中正健全なる教育世論の喚起に努め、もって我が国教育再建の事業に寄与せんことを期するものである。

また、教育の振興を図るためには、教育界に人材を誘致することが大切である。そのため、現職教員の地位待遇の向上を図るべきはもちろんであるが、更に退職者の処遇を改善

してその生活の安定を得しめることが極めて緊要である。最近における物価の上昇、生活水準の向上による退職者の生活困難は、言語に絶するものがある。かかる状態を長く放置することは、教員志望者に対し、将来の希望と誇りを失わせ、教育界に人材の誘致を阻む結果となることは、極めて明らかである。

よって、われわれ全国の退職校長は、一致団結して退職教員及びその家族のために、退職公務員連盟と提携して、恩給、年金スライドアップ制の早期実現を期し、もって退職者の生活安定を図り、教育尊重の実を上げんとするものである。また、この会は政治的にも思想的にも中立を堅持し、如何なる政党にも思想団体にも偏することなく、永遠にその存在を続けて、我が国教育の振興に寄与せんとするものである。全国公立学校退職校長各位、以上の趣旨にご賛同の上、もれなく本会に加入せられて、我が国教育再建の大事業に協力せられんことを期待する次第である。 昭和39年9月 結成準備委員会」

趣意書には、昭和39年当時の我が国教育界の現状、教育の振興、恩給や年金の充実と生活安定、本会結成の目的と立ち位置、そして課題解決への決意が十分に伝わって共感でき、先達がこぞって入会したのもうなずけます。また、現在の本県教育界の現状に似た記述も見受けられます。

本会は、先達の熱き思いに応え、繋いでいかなければなりません。今われわれができること、それは学校や教育行政の応援団として組織的にそして精力的にそれぞれの立場でできることを具体的にアクションしていくことだと思います。私たちは、学校教育現場の現状を把握するとともに小中学校長や高等学校長の意見や考えを丁寧に拝聴し、要望活動につなぎ、子どもたちにとって、先生方にとってよりよい魅力的な教育環境にしていくこと、県教委や市町村教委の施策や事業に協力し、課題解決への一助となるよう頑張り続けることが、人生100年時代に相応しい持続可能な本会のあるべき姿だと考えています。

令和7年度と8年度の2年間、東北協議会の事務局を担います。東北各県とこれまで以上に連携し、全連退はもとより中央省庁にも意見や要望を直接具申できる機会を大切にしたいと思っております。

全国的にも会員減少が喫緊の課題のひとつです。県事務局としては、これまでの取組に加え、入会者への勧誘活動を工夫したり、活動をより可視化したり、新たな学校支援策を提案したりしていきたいと考えています。県内16支部の皆様にも、支部活動の充実と現役校長とのかかわりをさらに工夫していただくとともに、過去5年間程度に遡って未入会者を洗い出し、再勧誘をしていただくなどして会員の加入率向上にお取り組みいただければ幸いです。

1921年、ノーベル物理学賞を受賞したアインシュタインは、「意思があれば 道は開ける。」と述べています。本会には喫緊の課題が山積していますが、このことばを胸にそれらの課題をひとつひとつ丁寧に解決し、学校や教育行政の応援団として県内16支部の会員の皆様とともに魅力ある持続可能な会運営に引き続き取り組んでまいりたいと思っております。